

# 日本消防



- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」継続決定！
- 第25回日中消防友好調査団の参加者募集
- 女性消防団員用広報ポスターを作成

□ 絵 平成21年度～消防団員 入団促進キャンペーン～  
消防団等地域活動・全国消防団員意見発表会表彰式 H22.2.25 於 ニッショーホール  
少年消防クラブ実技指導マニュアルDVD作成中  
ラジオ番組「おはようニッポン! 全国消防団」平成22年度も継続決定

巻頭言 消防団雑感	財団法人 長崎県消防協会 会長 寺田 信雄	1
ラジオ番組「おはよう! ニッポン全国消防団」	日本消防協会	3
ラジオ番組「おはよう! ニッポン」全国消防団出演者紹介	日本消防協会	4
女性消防団員用広報ポスターを作成	日本消防協会	10
第25回日中消防友好調査について	日本消防協会	11
「女性消防団員入団促進キャンペーンイベント」の開催	総務省消防庁 防災課	14
複合型居住施設における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令等の概要	総務省消防庁 予防課	16
特別表彰「まとい」を受章して「あるまじいわぬま 市民の安心・安全を守る消防団」	宮城県岩沼市消防団 団長 田村 善洋	18
東西南北(奈良県)「文化の薫るまちの防人」—新しい消防団組織を構築して—	奈良市消防団 団長 黒 文雄	20
東西南北(青森県)「歴史と伝統ある消防団を後世に」	青森県弘前市消防団 団長 石岡 廣美	22
東西南北(鳥取県)「地域住民の生命・財産を守るために」	智頭町消防団 団長 井手口 俊之	24
シンフォニー(三重県)「地域から親しまれ、信頼される消防団活動を目指して」	名張市消防団 部長 福永 かほる	26
新たな時代への挑戦 消防団員が『未来レスキューロボット操縦士』から社会貢献まで～人材の宝庫ともいべき多彩な団員の生業の特技を生かして～	北九州市戸畑消防団団長 小野田 利光	28
情報収集に救援活動に活躍～中越沖地震の柏崎刈羽両消防団～	新潟県 柏崎市消防団・刈羽村消防団	31
平成22年度 消防防災機器の開発等、消防防災科学論文及び原因調査事例報告に関する平成22年度消防防災機器の開発等、消防防災科学論文及び原因調査事例報告 募集要領	消防大学校・消防研究センター	36
住宅用火災警報器設置促進の取組	総務省消防庁 予防課	39
住民に対する応急手当の普及啓発	総務省消防庁 救急企画室	40
津波による災害の防止	総務省消防庁 防災課	41
地域防災スクールの推進	総務省消防庁 防災課	42
第13回消防防災研究講演会の開催	消防大学校・消防研究センター	43
うちの名物団員		44
消防団の広場(千葉県)「操法訓練と先輩の教え」	千葉県消防団第三分団一部 秋元俊一	46

5月の日本消防協会関係行事  
編集後記

## 表紙写真説明

### 平城宮跡 朱雀門

今年は、明日香、藤原京から、平城京へ都が移されて1300年になります。これを記念して1月1日から「平城遷都1300年祭」が、奈良県内の各地で催されています。写真の朱雀門は、平城宮跡の南面中央に復原され、一帯は世界遺産に登録されています。 奈良県奈良市

平成21年度 ～消防団員 入団促進キャンペーン～  
**消防団等地域活動・全国消防団員意見発表会表彰式**  
平成22年2月25日（木） 於 ニッショーホール



**少年消防クラブ実技指導  
マニュアルDVD作成中**



# ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」

平成22年度も継続決定

(財)財団法人 日本消防協会



～1月放送～

ゲストパーソナリティの  
ダニエル・カールさん (左)  
山本剛士ニッポン放送  
アナウンサー (右)

～2月放送～  
ゲストパーソナリティの  
浅香光代さん (左)



～3月放送～  
ゲストパーソナリティの  
マリ・クリスティーヌさん  
(左)



## 消防団雑感

財団法人 長崎県消防協会 会長 寺田 信雄



私は20才で消防団に入団、以来46年間消防に身を置いている。私が所属した分団は長崎市で一番の繁華街を含む一帯を管轄している長崎市第1分団である。当時、分団規模は40名～45名で、団員の職業は5～6人がサラリーマン、後は自営業・職人であり、今とは全く逆の構成であった。

点検・訓練はそれぞれ月に1回、仕事を終えた夜に車の手入れ、1回は日曜日の昼間、峠をひとつ越え川がある茂木に出かけての水出し操法訓練であった。

当時の装備は今と格段に違い、水に濡れたホースは3倍ぐらいに膨れ上がり、おまけに重い。ヘルメット、防火着がなく、放水で法被から下着までずぶ濡れになり、火事の途中で下着を着替えに家に戻ることもあった。また、消防車がオンボロでいざ火事で出動という時に、エンジンがかからない。この時はみんなで押ししたり、他の車で引っ張ってもらったりしたものだった。

当時は木造の建物が多かったので、小火にとどまらず全焼火災が多かった。他地区への応援を含めると月に4～5回、火災現場へ出動していたと記憶している。

定期点検後、あるいは火事の後始末の後、おでんをつまみに差し入れの日本酒をみんなでワァワァー言って飲んでいた。この時の先輩、同僚とのつきあいで、人と人との絆を深め、団活動を通じて地域社会のために奉仕することの大切さを学んだと思っている。

協会長へ就任して早2年が経過しようとし

ている。この間の消防協会の行事その他を振り返って、私なりに気づいた事について述べたい。

各消防団の消防出初式には、従来から協会長・副会長が手分けして、できる限り出席している。

今年の出初式には地元以外に4市町に出席した。その中で印象的だったのは鹿町町と諫早市の出初式であった。

鹿町町には早朝の高速道と一般道を経由しての2時間の道程である。

市町村合併の進んだ本県においては、数年前まで79市町村で実施されていた出初式も今は3分の1以下の23市町での実施となっている。本年3月末には鹿町、江迎の両町が佐世保市と合併するため来年の出初式は21市町で実施されることになる。

鹿町町としての最後の出初式は、役場に隣接する町民広場。最近の出初式典は屋内開催が多くなっているが鹿町町の出初式典は屋外である。正直言えば寒かったが、稟とした空気の中で、文字通り身の引きしまる式典であり、若かりし頃の屋外での出初式を思い起こさせる懐かしい寒さでもあった。市町村合併に伴って出初式の規模が大きくなっているが、総員144名の鹿町町消防団の最後の出初式は、団員の顔の見える地域に密着した消防団の原点を感じる素晴らしい出初め式であった。

諫早市の出初式の名物は、商店街のアーケードでの園児のパレードである。今年も団員

の観閲行進に先立って、19クラブ700名のかわいいちびっこの大行進が行われた。園児の両親はもちろん、おじいちゃんおばあちゃんがデジカメ片手に声援を送っていた。諫早市の50代の団員に聞くと子どもの頃から正月行事の大きな楽しみであったと言う。自らの町は自ら護る消防団を次代に引き継ぐ形を見せてくれた心温まるパレードであった。

国においては、団員の1割を女性消防団員とする目標を掲げているが、我が協会では、団員総数の1%の200名余である。

私が所属する長崎市消防団では30名の女性団員がいるが、昨年度は住宅用火災警報器の設置が義務づけられたことから、消防署員と一緒に街頭宣伝あるいは一般家庭への予防査察を行った。普段は保育園、児童館で防火講話、避難防火訓練の補助あるいは防火紙芝居を開催しているが、小学生を対象とした講話では、消火器の取扱指導も加えて行っている。このような女性ならではの活動を実施している。

このような活動も都市部を中心に広がりつつはあるが、離島・半島地域では事情が少し異なる。

本県は県土の3分の2以上が離島・半島地域であり、その地域に50万人の人々が暮らしている。この地域の多くで火事が発生した場合の頼みの綱は消防団である。今年2月に半島地域で住宅4棟を全半焼する昼火事が発生したが、消防団員の活躍でけが人を出すことなく鎮火した。この火災で出動した常備消防車両は指令車1台、ポンプ車2台、救急車1台の計4台であったのに対し、消防団からはポンプ車8台、人員148人の出動であったと聞く。離島・半島地域では消防団は今も消火の主力なのである。

このような離島・半島地域で女性団員の加入促進について話をすると、団員からは「入団して欲しいのは、やはり男性団員だ。」という返事が返ってきた。

県全体の人口当たりの団員数は人口1万人当たり145人で全国平均の約2倍ではあるが、団員減少に歯止めがかからない。消防団員数約2万1千人と昭和20年代から半減している状況にあり、この3年間の減少数は全国でもとりわけ目立っており、肩身が狭いところである。

平成19年度には県、各市町、県消防協会、消防団員の確保と維持、消防団の活性化に向けた協議を重ね「消防団のあり方に関する提言書」としてとりまとめられた。

協会においては昨年度に引き続き、21年度も理事会・評議員会において団員確保の決議をした。

行政では、県が市町と連携して「消防団員確保対策キャラバン事業」が実施されている。団員を確保するための方策について分団長さんなどとの意見交換がなされている。

その中で、多くの分団で「地域に勧誘する若者がいない。」という声があがる。消防団を地域の宝として未来へつないでいくことを考えると、若者の就職先の確保に始まる地域社会のあり方につながり、問題の深刻さが見えてくるのである。

ここに私はその答となるべきものは持たないが、鹿町町の消防出初式で見た団員の顔と諫早市のちびっこのパレードを思うと心が軽くなる。

地域住民の安全・安心を確保するため、われわれ消防団員は地域住民の1人として、地域防災力の要である消防団を次の世代に確実に引き継いで行かなければならない。あの団員達がいてあのちびっこがいるのではないか。

# ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 今年度も引き続き4月よりスタートしました！

財団法人 日本消防協会

昨年度に引き続き、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団の活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組を今年度も放送します。

毎週、消防応援団員をゲストパーソナリティに迎え、各地の消防団員やそのご家族等に電話でインタビューをして頂き、大切なわがまちを守る消防団員としての活動や体験、心がまえやエピソード、「わがまち・ふるさと」自慢等の話題を取り上げます。

つきましては、できるだけ多くの方々に聴取していただきますようお願いいたします。

- 1 放送期間  
2010年4月～2011年3月
- 2 放送日時  
毎週1回、10分番組（土曜日又は日曜日）
- 3 放送局  
ニッポン放送系列 全国30局フルネット
- 4 協力  
財団法人 自治総合センター  
財団法人 日本消防検定協会
- 5 その他  
詳しくは随時、日本消防協会ホームページにも掲載します。

放送後の番組は日本放送協会のホームページで聴くことができます。

おはよう！ニッポン全国消防団  
放送局・放送時間

計	放送曜日	放送時間
(株)ニッポン放送	日	6:15～6:25
(株)S T Vラジオ	日	5:50～6:00
青森放送(株)	日	7:20～7:30
(株)IBC岩手放送	日	6:15～6:25
東北放送(株)	土	5:00～5:10
(株)秋田放送	日	6:15～6:25
山形放送(株)	日	6:20～6:30
(株)ラジオ福島	土	5:40～5:50
(株)新潟放送	日	7:40～7:50
信越放送(株)	日	6:50～7:00
北日本放送(株)	日	6:10～6:20
北陸放送(株)	日	7:30～7:40
福井放送(株)	日	6:10～6:20
東海ラジオ放送(株)	日	6:00～6:10
大阪放送(株)	土	6:45～6:55
(株)和歌山放送	土	6:30～6:40
(株)山陰放送	日	8:30～8:40
(株)中国放送	日	5:30～5:40
山口放送(株)	土	6:45～6:55
四国放送(株)	土	6:40～6:50
西日本放送(株)	土	7:35～7:45
南海放送(株)	日	8:40～8:50
(株)高知放送	日	6:40～6:50
九州朝日放送(株)	日	6:15～6:25
長崎放送(株)	土	7:25～7:35
(株)熊本放送	土	5:30～5:40
(株)大分放送	日	6:45～6:55
(株)宮崎放送	日	6:20～6:30
(株)南日本放送	日	8:30～8:40
(株)ラジオ沖縄	日	6:35～6:45
計		計30局

# ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

財団法人 日本消防協会

平成21年11月放送分に  
出演の消防応援団  
千葉 紘子さん



10月31日又は11月1日放送



愛媛県 大洲市消防団 部長  
白石 朱美さん

初めてのラジオ番組出演で少し緊張ぎみの私でしたが、千葉紘子さんの優しいかけ声にいやされながら、大洲市女性消防団員のアピールができました。

11月7日又は11月8日放送

全国的にみてかなり広い面積の日光市の今市地域を守っている消防団です。若者のみなさん、地域を守るのは皆さんですよ！消防団に入って自分を磨いてください。



栃木県 今市消防団 分団長  
沼尾 幸一さん

11月14日又は11月15日放送



福岡県 北九州市小倉北消防団  
班長  
金ヶ江 芳彦さん

ラジオインタビューでは千葉紘子さんと対談することができ、大変緊張しましたが、やさしくリードして頂いたおかげで、とても楽しい時間を過ごせました。

インタビューの中では北九州市小倉北区の小文字焼きの話や「我ら消防団」の歌も紹介することができ大変うれしく思います。

また、この「おはよう！ニッポン全国消防団」のおかげで、全国に私と同じ気持ちで活動を行っている消防団員の方の話を知ることができ、大変勇気付けられました。

これからも消防団活動に全力で励んでいきたいと思っております！！

11月21日又は11月22日放送

1200年の歴史を誇る『世界遺産 高野山』の貴重な文化財を守るため今後も尽力します。



和歌山県 高野町消防団 副団長  
中本 芳也さん

11月28日又は11月29日放送



広島県 三原市消防団 団員  
高西 喜美さん

団長の推薦です。『是非ラジオに出演を！』そう言われて『了解しました』っとオッケーしたのは良かったんですが、何を話したら…っと、心配ばかり。貴重な体験でした。歴史のまだ浅い私達三原市女性消防団ですが、これからも仲間と共に明るく元気に頑張っていきたいと思います。

平成21年12月放送分に  
出演の消防応援団  
ジュディ・オングさん



12月5日又は12月6日放送



東京都 田園調布消防団 分団長  
高橋 春美さん

初めてラジオ出演させて頂き、アナウンサーの山本剛士さん、ゲストのジュディ・オングさんの優しい進行のおかげをもちまして、無事収録が出来ました。もう少しお話をしたかったのですが、時間の都合で仕方がないですね。大変貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。田園調布消防団頑張ります。宜しくお願いします。

12月12日又は12月13日放送

僕みたいな50代はそろそろ引退し後進に道を譲り団員の底辺を広げなければならないと常々思っているのですが自分でまだ何か錯覚しているんですネ。



新潟県 十日町市消防団 副団長  
裾澤 英和さん

12月19日又は12月20日放送



石川県 白山市北消防団 団長  
吉村 務さん

霊峰白山から手取川を通じ日本海に続く白山市。市町村合併5年の節目に、白山市南北消防団では団史編さんに取り組んでいます。

12月26日又は12月27日放送

ラジオ出演は初めて&ジュディ・オングさん・山本アナウンサーとのやり取りに、最初とても緊張しましたが、楽しい時間でした。この放送を通じて、私達『うず小町』だけではなく、全国の女性消防団員の存在・活動ぶり・今後の目標や活躍を、もっとたくさんの人達に知ってもらいたいです。これからも、女性ならではの特徴を活かすのは勿論、力強く頑張ります!!



徳島県 鳴門市消防団女性分団 団員  
近藤 千恵美さん



平成22年1月放送分に  
出演の消防応援団  
ダニエル・カールさん

この度は、日本消防協会より名誉ある章を頂くことになり誠に有り難く恐縮しています。

これまで団員として働けたのは、地域の皆様のご支援、お力添えの賜物と思う次第でございます。

これからも微力ではありますが、皆様のお役に立てるよう精進したいと思います。

1月9日又は1月10日放送



宮城県 石巻市桃生消防団 分団長  
須田 秀孝さん

1月16日又は1月17日放送



宮城県 福井市消防団 地区副団長  
内田 健一さん

消防団の組織再編というお堅いテーマの話で、スムーズに進むのか少し不安でしたが、ダニエル・カールさんと山本アナウンサーの巧みな誘導であつという間に収録を終えることが出来ました。

この放送が少しでもお役に立てれば嬉しいです。私たち福井市消防団も、より地域に密着した消防団となるよう頑張ります。

ありがとうございました。

ダニエル・カールさんとお話が出来て、とても楽しくまた光栄でした。「島根県津和野町の城下町に行ったことがありますよ」、「実は私(中野逸子)は津和野町の出身なんです。」から始まり、不思議なご縁を感じ、親しみのある雰囲気、リラックスして地域防災についてのお話が出来ました。高齢化が進展する中で、女性消防団員として重要な役割が沢山ありますが、地域にあった活動をしっかり行い、少しでも地域防災に貢献出来ればという思いで頑張っていきたいと思います。最後に私たちの町「阿武町」は、人口4000人足らずの小さな町ですが、地域の皆さんは大変元気があり、また「Hotするね阿武町」というキャッチフレーズが示すように、何か心がほっとして安らげる町です。今回対談させて頂いたダニエル・カールさんを始め、消防応援団の方々、また全国の消防団員の方々に是非一度お越し頂き、「我が町阿武町」を肌で感じて頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1月23日又は1月24日放送



山口県 阿武町消防団 部長  
中野 逸子さん

1月30日又は1月31日放送



熊本県 阿蘇市消防団 分団長  
佐藤 春人さん

今回の番組で、一部ですが、地域校区の方々の理解あっての中通少年消防クラブの活動を紹介できた事は良かったと思います。

また、阿蘇火口における火山防災訓練の実施を通して“安全で安心”出来る阿蘇観光をPRでき、私自身も観光関係に従事する一員として、少しは貢献したと考えます。

# 女性消防団員用 広報ポスターを作成

財団法人 日本消防協会

日本消防協会では、地域社会の消防団活動への理解と協力を促すとともに、より一層の女性の消防団への入団促進を図ることを目的として、「女性消防団員用広

報ポスター」を作成いたしました。

平成22年4月から、全国の公共機関等、目に触れやすい場所に掲示しています。

モデルは英玲奈さんです。



# 第25回日中消防友好調査について

財団法人 日本消防協会

日中消防友好調査につきましては、昭和60年4月25日に「日中消防友好協定」を締結し、毎年調査団が訪中し、中国各地の消防機関を視察するとともに、友好を深めており、参加者には好評を博しております。

本年度の消防事情調査においては、北京市、武漢市、荊州、宜昌市、上海市を予定いたしております。

## 1 目的

中国各地の消防機関を訪問し、日中両国消防の友好交流を深めるとともに、中国消防体制・制度等についての見聞を広めることを目的とします。

## 2 参加者資格

各都道府県消防協会役員、消防団幹部、消防職員幹部及び消防団事務担当者等で健康な方。

## 3 訪問先消防機関等

※ 予定している消防視察は、北京・武漢市・宜昌市・上海市の消防事情調査です。

※ 4都市では中国の消防幹部との意見交換会等を予定しております。

※ 中国国内の行動に関しましては、中国消防協会の協力により、同協会の全面的な便宜供与を受けることとさせていただきます。

## 4 期間

平成22年6月24日(木)～7月1日(木)まで(7泊8日)

## 5 経費

総経費	199,745円
-----	----------

※ 中国滞在中の飲食費及び調査先の入場料等の諸経費は含まれています。

※ 調査期間中、一人部屋を希望される方の追加料金は26,496円が必要です。

## 6 申込方法と期限

参加申込書を各都道府県消防協会でお取りまとめます。

提出期限 5月17日(月)まで

7 事情調査の性格上、各任命権者において出張扱いとされるようご配慮をお願いいたします。

8 取扱旅行者 (前後泊、日本国内航空券、海外旅行保険、成田集合案内等)

(株)JTB首都圏 法人営業新橋支店

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16

担当：榎・甲斐 TEL 03-3504-0794

FAX 03-3502-3169

9 財団法人 日本消防協会 国際部

担当 福地

TEL 03-3503-3054

FAX 03-3503-1480

E-mail : fukuchi@nissho.or.jp

※ 申込書また行程における詳しい情報については、日本消防協会のホームページ(<http://www.nissho.or.jp>)にて掲載されています。

## 10 宿泊等の斡旋

参加申込者には、申込締切り後に旅行者から次の斡旋について連絡がありますが、必要な方はお申込み下さい。

(1) 前後泊ホテル 成田ビューホテル

〒286-0127 千葉県成田市小菅700

TEL 0476-32-1111

FAX 0476-32-1078

宿泊料金シングルルーム1泊

(朝食付き・税・サービス込)

7,000円

11 その他

- (1) 特別事情により調査日程等に変更が生じた場合は、別途通知いたします。
- (2) 旅行諸条件及び日程については、別紙を参照下さい。
- (3) 航空券・ホテル予約のため、旅券（パスポート）の写しを集めさせていただきます

ます。

- (4) 旅行日当日は、成田空港第2ターミナルビルに8時30分前後までにご集合していただくことを予定しています。なお、詳細につきましては、後日ご連絡させていただきます。

第25回日中消防友好調査団日程表

北京・武漢・荊州・宜昌・上海 2010年6月24日（木）～7月1日（木）（7泊8日）

日	月日 (曜日)	発着地	時刻	交通機関	行程	宿泊
1	6月24日 (木)	東京発 北京着	10:50 13:50 18:30	JL863	北京到着後、 世界遺産 故宮  中国消防協会歓迎宴	北京長安大飯店 北京市朝陽区華威里27号 TEL 86-10-67731234 FAX 86-10-87789221
2	6月25日 (金)	北京滞	午前 午後 夕方	専用車	北京市消防視察（日中消防協会定期協議会同時開催） 万里の長城、頤和園（或いは天壇公園） 日中消防関係者交流会（釣魚台国賓館）	
3	6月26日 (土)	北京発 武漢着	08:30 10:35 午後 夕方	CZ6366	北京発、武漢へ 武漢着 消防中隊視察、黄鶴楼 湖北省消防との交流会	馬可波羅酒店 漢口沿江大道159号 TEL 81-27-82778888 FAX 81-27-82778866 武漢 泊
4	6月27日 (日)	武漢発 荊州着	午前 午後	専用車	湖北省博物館、荊州へ 荊州古城、関帝廟	荊州賓館 荊州迎賓路8号 TEL 81-716-8467600 FAX 81-716-8467479 荊州 泊
5	6月28日 (月)	荊州発 当陽 宜昌着	午前 午後	専用車	当陽へ 関陵 長坂坡 三峡ダム視察 宜昌市消防との交流会	半島酒店 宜昌東山開発区深圳路25号 TEL 86-717-6345666 FAX 86-717-6331178 宜昌 泊
6	6月29日 (火)	宜昌発 上海着	16:20 17:45	MU9366	三遊洞等 その後、国内線にて上海へ 上海虹橋空港着 食事後、ホテルへ	斯格威铂尔曼大酒店 上海市打浦路25号 TEL 86-21-33189988 FAX 86-21-53025375
7	6月30日 (水)	上海滞		専用車	上海万博見学・消防視察・ほか市内視察 上海消防との交流会	
8	7月1日 (木)	上海発 成田着	14:05 18:00	JL876	午前、上海金融センター展望台（100階）等 リニアモーターカー（時速431キロ）にて空港へ その後、帰国へ	上海 2泊
		上海発 関空着	13:25 16:35	JL894		

航空機及び現地の都合により変更になる場合があります。

## 視察のポイント

- 全行程中国公安消防関係者が同行し、中国各消防視察地において現地消防関係者と交流します。
- 三国志の舞台や世界最大の三峡ダムがある湖北省各地等をたっぷり視察します。
- 中国消防協会の全面的な協力により、充実した視察先、厳選されたホテル、食事、釣魚台国賓館を利用し、燃油サーチャージ・空港諸税込20万円を切る低価格を実現。



H21年度日中消防友好調査視察風景



上海万博 日本館イメージ写真



宜昌市 山峡ダム



荊州市 関帝廟



武漢市 黄鶴楼

# 「女性消防団員入団促進キャンペーンイベント」の開催

総務省消防庁 防災課

地域防災の要である消防団員が減少し、地域の防災力の低下が懸念されている中で、女性消防団員は毎年増加しており、全国で約1万8千人が活躍しています。しかし、消防団の活動内容があまり知られていないせいも、まだまだ足りません。

全国の消防団では、地域のために力を貸してくれる女性を募集しています。そこで消防庁では、1月から3月までの「消防団員入団促進キャンペーン」の一環として、全国の女性に対し消防団への入団を呼びかけるため、平成22年2月10日（水）に、女優の星野真里さん、お笑いグループの東京03の皆さんに出演していただき、20年度に続き2回目の「女性消防団員入団促進キャンペーンイベント」を開催しました。

東京都千代田区の丸の内オアゾにおいて、昼休みを利用して開催したため、近隣の企業に勤める女性など延べ約700名の来場があり、大変盛況のうちにイベントが進行しました。

午前中から設置した消防団活動紹介パネル展示コーナーでは、全国の消防団員の活躍や消防団を活性化するための「機能別団員・分団」制度や「消防団協力事業所表示制度」が紹介されており、通りかかった人々は足をとめ、熱心にパネルを見ていました。

イベントのメインとなるのは、12時15分から45分間実施したステージイベントです。司会の皆藤慎太郎アナウンサーによるイベント

開始を告げる軽快なアナウンスが会場に鳴り響くと、お昼休みで丸の内オアゾに訪れた女性たちが次々に足をとめ、ステージの前は次第に人だかりができました。

まず、全国消防イメージ

キャラクター「消太」と、特別に応援に駆けつけてくれた東京消防庁マスコット「キュータ」が登場し、会場を盛り上げると、ゲストの「東京03」の皆さんがコントを披露し、一層会場の空気はなごやかなものになりました。

さらに、消防団員入団促進ポスターとDVDに出演していただいた星野真里さんと、実際に消防団員として現場で活躍されている丸の内女性消防団員の千葉綾佳さんと御園真幸さんのお二人をゲストとして迎え、消防団にまつわるトークショーが始まりました。

女性消防団員のお二人に、入団のきっかけについてたずねると、二人とも同じ企業に勤

める会社員で、先輩団員の千葉さんに憧れて、後輩団員の御園さんが入団したとのこと。丸の内消防団は、全員が勤務地消防団員（居住地ではなく、勤務地で消防団に入団している団員の



全国消防イメージキャラクター「消太」



東京消防庁マスコット「キュータ」



東京03（左から豊本明長さん、飯塚悟志さん、角田晃広さん）

こと)で、普段は仕事をもちながら、いざというときには災害現場に駆けつけたり、防火啓発活動や、住民への初期消火や救護の指導、丸の内管内で行われる様々な行事の警戒などにあたっています。

トークショーの中では、星野真里さんが、消防団員入団促進DVDを撮影したときに千葉市消防団に一日体験入団したことを振り返り、「意外と体力が必要な活動だったけれど、皆さんがいきいきと活動されていたのが印象的。率先してこの仕事ができる誇りを持っているのを感じた。」と感想を述べられました。また消防団員のお二人に「実際に入団してみても何か変わったことは？」とたずねると、「街を歩いていると、消火器やAED(自動体外式除細動器)が目につくようになったり、家の中でも地震が起きたら倒れそうな家具がないかどうか考えて、危険がないように模様替えをした。」と答えられ、消防団員ならではの目線で日頃から災害に備えるようになったことを話してくれました。

最後に、ゲストのみなさんから一言ずつ全国の女性の方へのメッセージをいただきました。

星野さんからは「だれでもできるものなので、ほんとうに興味があれば一度足を運んで



みて。)、東京03を代表して豊本さんからは「何かに協力しようという姿勢や心意気がすばらしい。」とコメントがあり、消防団員の千葉さんからは「女性だからこそできることがたくさんあるので、興味をもたれた方がいたら、一緒に力になってもらいたい。」、同じく消防団員の御囲さんからは「消防団で学んだことを活かして、自分の勇気と知識で人を救える仕事。みなさんぜひ一緒に活動しましょう。」とメッセージがありました。



星野真里さん

最後に、来場者やゲストの参加により消防団にまつわるクイズ大会を行い、正解者には東京消防庁オリジナルのキティちゃん携帯ストラップがプレゼントされました。

イベント会場の一角では東京消防庁丸の内消防署及び丸の内消防団の多大なるご協力をいただき、消防団員仮入団受付コーナーを設け、入団についての相談を受けました。

このイベントを通じて、全国の女性に、誰でも消防団に入団することができることを知ってもらい、興味を持った方が一人でも多く、身近な地域貢献として消防団への入団を希望してくれることを期待しています。



千葉綾佳さん



御囲真幸さん



クイズに回答するゲストの皆さん



消防団員仮入団受付コーナー

# 複合型居住施設における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令等の概要

総務省消防庁 予防課

## 1 改正の背景

近年、共同住宅の一部を利用して小規模なグループホーム等の福祉施設を開設する例が増加していますが、共同住宅に異なる用途の施設が入ることに伴い、防火対象物全体として消防法施行令（昭和36年政令第37号。以下「令」という。）別表第一（16）項イとして判定され、新た共同住宅部分についても、消防用設備等の設置・改修が必要となる場合があります（図1参照）、その結果として福祉施設等の入居を拒否されたり、退去を求められるといった事態が懸念されているところです。

このことを踏まえ、「小規模施設に対応した防火対策に関する検討会報告書（中間報告）」（平成21年2月。座長：室崎益輝・関西学院大学教授）において提言が取りまとめられ、小規模なグループホーム等の福祉施設は、「家具・調度等の可燃物、調理器具、暖房器具等の火気使用、入所者数等も他の一般住戸とほぼ同様の形状」であり、「グループホーム等における入所者の避難安全性が確保されれば、他の一般住戸については、グループホーム等の入居により危険性が高まることはない」とされ、共同住宅部分については用途の複合化に伴う基準の適用について措置を講じるのが適当とされました。

このため、平成22年2月5日付けで「複合型居住施設における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令（平成22年総務省令第7号）」及び「消防法施行規則及び特定共同住宅等における必

図1 福祉施設の入居による消防用設備等の設置基準の強化

	(5)項口 (共同住宅等)	(16)項イ (特定複合用途 防火対象物)	
スプリンクラー設備	11階以上の階	11階建て以上の防火対象物の場合、すべての階	改正事項①
自動火災報知設備	500㎡以上	300㎡以上	
誘導灯	地階・無密階・11階以上の階	すべての階	
特定共同住宅等の省令	適用（耐火構造かつ内装制限をすれば、屋内消火栓設備及びスプリンクラー設備の設置免除）	適用されず	改正事項②

要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令の一部を改正する省令（平成22年総務省令第8号）」等が公布されました。

## 2 改正の概要

### (1) 対象となる防火対象物

令別表第一（16）項イに掲げる防火対象物のうち、同表（5）項口（以下「共同住宅等」という。）並びに（6）項口及びハ（有料老人ホーム、福祉ホーム、認知症高齢者グループホーム、障害者グループホーム・ケアホームに限る。以下「居住型福祉施設」という。）に掲げる防火対象物の用途以外の用途に供する部分が存在しないもので、かつ、一定の防火区画等を有するものを今回の改正の対象と

しています。

(2) 改正事項①

居住型福祉施設の部分に一定の区画等（図2参照）がされている場合には、共同住宅等の部分のスプリンクラー設備、自動火災報知設備の感知器及び誘導灯の設置が免除できるとされました。【免除部分】（図3参照）

- スプリンクラー設備については、10階以下の部分（居住型福祉施設の部分を含む。）
- 自動火災報知設備については、500㎡未満の防火対象物（特定一階段等防火対象物を

図2 区画のイメージ図

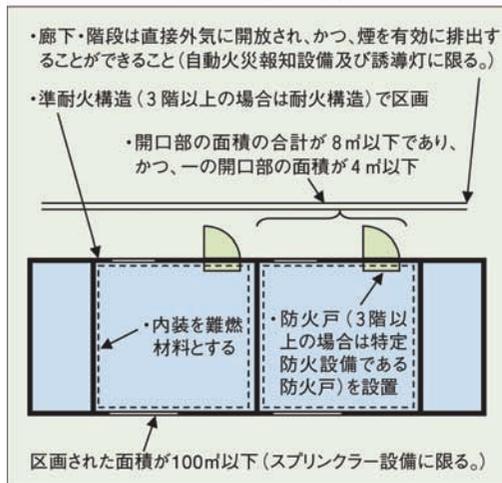
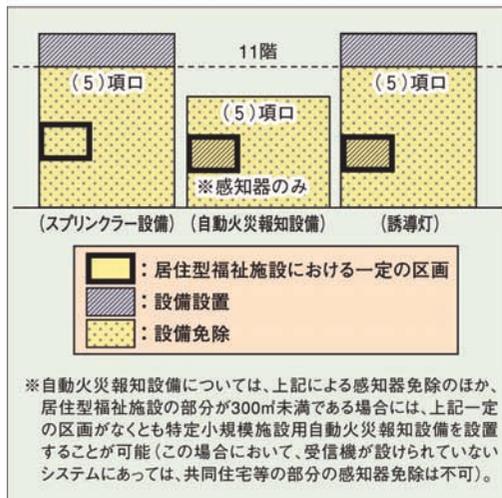


図3 免除部分イメージ図



除く。）における共同住宅等の部分の感知器

- 誘導灯については、地階、無窓階及び11階以上の階の部分を除く共同住宅等の部分

(3) 改正事項②

特定共同住宅等の定義に、前記記載の対象となる防火対象物が追加され、居住型福祉施設において、通常用いられる消防用設備等に代えて用いることができる必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等（図4参照）が規定されました。

図4

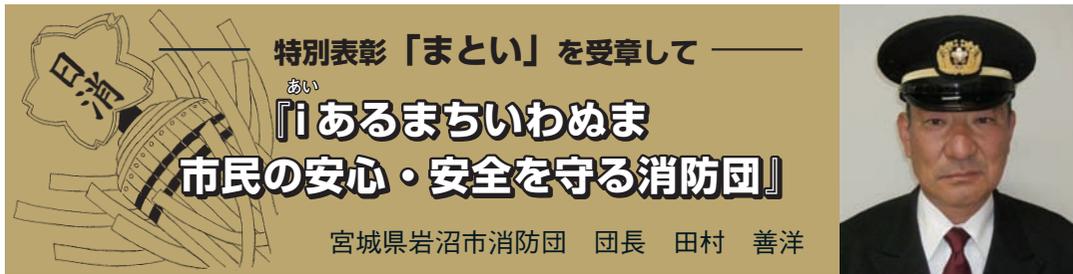
【通常用いられる消防用設備等】

初期拡大抑制性能を有する消防用設備等	避難安全性能を有する消防用設備等	消防活動支援性能を有する消防用設備等
屋内消火栓設備（※1） スプリンクラー設備 自動火災報知設備 屋外消火栓設備 動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備 非常警報器具又は非常警報設備	連結送水管 非常コンセント設備

【必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等】

初期拡大抑制性能を有する消防用設備等	避難安全性能を有する消防用設備等	消防活動支援性能を有する消防用設備等
共同住宅用スプリンクラー設備（※2） 共同住宅用自動火災報知設備（※4）又は住戸用自動火災報知設備（※4）及び共同住宅用非常警報設備（※3）	共同住宅用自動火災報知設備又は住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備	共同住宅用連結送水管 共同住宅用非常コンセント設備

- \* 1 11階以上の階に限る。
- \* 2 11階以上の階のみに設置。
- \* 3 二方向避難型特定共同住宅等及び開放型特定共同住宅等にあつては5階以下、二方向避難・開放型特定共同住宅等にあつては10階以下に限る。
- \* 4 居住型福祉施設に設ける共同住宅用自動火災報知設備及び住戸用自動火災報知設備にあつては、居住型福祉施設で発生した火災を、当該福祉施設の関係者等に、自動的に、かつ、有効に報知できる装置を設けることが必要。当該装置の具体的な例としては、次のようなものが想定される。
  - ・住棟受信機が設置されている場合にあっては、居住型福祉施設において火災が発生した際、関係者等が存する階の音声警報装置等が鳴動するよう鳴動範囲の設定を行う。
  - ・居住型福祉施設部分の感知器、住戸受信機又は住棟受信機の作動と連動して起動する緊急通報装置等の通報先として、関係者等が常時いる場所を登録する。



## はじめに

平成22年2月10日、日本消防会館「ニッショーホール」において、第62回日本消防協会定例表彰式が厳粛かつ盛大に挙行され、岩沼市消防団の念願でありました、消防団最高の榮譽であります日本消防協会特別表彰「まとい」を日本消防協会片山虎之助会長より拝受いたしました。

このような榮譽ある表彰を受章できたことは、私ども消防団員はもとより、諸先輩そして多くの岩沼市民にとりまして、この上ない喜びであり誇りとするところであります。

これもひとえに日本消防協会をはじめ宮城県、宮城県消防協会、岩沼市並びに消防関係各位の温かいご支援、ご協力と岩沼市消防団の永い歴史と伝統を築き上げてこられた、諸先輩方のご尽力の賜と深く感謝申し上げます。



今回の受章を契機に、岩沼市消防団員は地域住民の安心・安全を守り続ける所存であります。

## 岩沼市の紹介

岩沼市は宮城県の南部に位置し、政令都市仙台市から南へ17.6kmに位置しており、西は阿武隈高地で南は阿武隈川が流れ、東には太平洋が広がり、西部丘陵地との間には地勢平坦な名取平野が展開しています。

気候は表日本型で、太平洋を北上する黒潮の影響により、比較的温暖な住みやすいまちであります。

また、陸路は国道4号線と6号線の結節点、鉄路は東北本線と常磐線の分岐点となっています。更に、空路においては東北の玄関口仙台空港が所在する交通の要衝の地でもあります。

岩沼は江戸時代に、江戸と仙台を結ぶ宿場町として栄え、仙台藩主の参勤交代では、参府の際は昼食、帰途の際は宿泊地となっております。

岩沼市にある「竹駒神社」は日本三稲荷のひとつで、毎年、旧暦二月初午から始まる初午祭りには多くの参拝客が訪れ、祭りでは江戸時代の大名行列を偲ばせる金紋先箱の供揃えで、毛槍を打ち振りながら繰り広げる無形民俗文化財の「竹駒奴」行列や騎馬行列などで賑わいを見せております。

## 岩沼市消防団の沿革

昭和30年4月に町村合併により岩沼町消防団として発足、昭和40年4月には3分団・24部・定員350名で、装備は消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ22台、昭和43年にラッパ隊を編成士気高揚を図っております。その後、昭和46年の市制施行により岩沼市消防団となり現在に至っております。

現在の消防団の装備は、多機能型消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車22台を保有し機動力を大幅に増強、更には消防団幹部に無線機45台を配備し災害時の情報収集や現場状況の把握強化に努めております。

## 岩沼市消防団の活動内容

岩沼市消防団は、1年を通して管轄地域の火災予防巡回広報を行い、各町内の自主防災組織と一体化した防災訓練や応急手当の訓練、林野火災を想定したポンプ中継訓練や機関員を養成する機関員講習の実施、消防団と婦人防火クラブが一緒に行う、消



平成22年消防出初式街頭行進

防操法競技大会及び初期消火競技大会の実施、同じ会場には福祉のつどいが開催され岩沼市民約1,000人が会場に集まり、岩沼市と一体化した行事となっております。この競技大会のために各消防団は夜遅くまで練習を行っております。

## おわりに

全国的に団員確保が深刻な問題になっている中、岩沼市消防団は、地域に密着した消防団で、団員の被雇用者が年々増えてはおりますが、条例定数350名を維持しており、これらにつきましても地域住民の皆様への防火防災に対する期待の表れと思っております。今後高い確率で発生が予想されている、宮城県沖地震などには、地域防災の要として消防団員が一丸となって地域の期待に応えたいと考えております。

最後になりますが、この荣誉ある受章にあたりまして、格別のご高配を賜りました消防関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、皆様のますますのご発展、ご健勝をご祈念申し上げまして受章の挨拶とさせていただきます。



消防団員普通救命講習



## 「文化の薫るまちの防人」 ー新しい消防団組織を構築してー



奈良市消防団 団長 黒 文雄

奈良市は、人口368,429人（平成22年3月1日現在）、市の総面積約277km<sup>2</sup>で、奈良県の北部に位置しています。

奈良時代に平城京が置かれた古都であり、シルクロードの終着点として国際色豊かな天平文化が花開き、大伽藍が立ち並ぶ都として、数々の貴重な文化財に恵まれ国宝建造物数は日本で一番多くあります。

平成10年には市政100周年を迎え、古都奈良の文化財として東大寺などの8資産群がユネスコの世界遺産に登録されました。

その後、平成14年には中核市へと移行し、本年は『平城京』が誕生した710年から数えて、ちょうど1300年に当たることから、日本だけではなく広く世界の人々との文化交流を創造する「はじまりの奈良、めぐる

感動」をテーマに、「もてなしの心」を持って、平城遷都1300年祭が行われ、多くの方が訪れていただける観光都市奈良市を目指しております。

### 1. 奈良市消防団の概要

奈良市消防団は、昭和23年4月、5分団118名にて発足され、昭和、平成の合併により構成分団も増加し、また、昨年4月には消防団の活性化を図る目的で、女性団員39名を採用し、本部付けの広報指導分団として結成しました。現在は、1本部4方面隊の22分団1,000名で構成し、消防機械力はポンプ車1台、全自動型積載車1台、積載車92台、小型動力ポンプ110台を配備しています。平成22年2月には、消防庁長官よ



り団員確保に力を入れ実数を増加させた消防団として「消防団等地域活動表彰」を受賞しました。

## 2. 奈良市消防団の活動

現在、奈良市消防団は1本部4方面隊（中部、南部、西部、東部）にブロック分けしております。奈良市消防団の方面隊は、火災、地震、風水害等の大規模災害が予想される中、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、災害防除活動の迅速、適確を期するため、団員相互の意思疎通を図り連絡協調を緊密にし、地域防災の中核的存在として、地域の安全・安心のため、実態に即した消防団体制の組織化と整備を図るため編成されました。

昨年結成した広報指導分団は、『防災は男の仕事』という固定観念を取り除き、男女共同参画社会における、女性ならではのソフトな対応と豊かな感性を生かした活発な消防団活動をめざし、防災思想の普及や応急手当の重要性、近年の社会が求めるニーズに的確に対応した任務を効果的に展開するため、一般公募による愛称を募集したところ、「やまとなでしこ隊」と命名されました。

現在「やまとなでしこ隊」は、3つのグループから構成され、応急手当指導員の資格をもつ団員を中心に事業所やその他の施設を訪問して普及活動を行う〈応急手当指導グループ〉、保育園や幼稚園、さらには高齢者福祉施設を訪問して、子供達が親しみやすい紙芝居やクイズ、お年寄りの方々には分かり易いようにパネルシアター等を通じて防火指導を行う〈幼児高齢者グループ〉、奈良市消防音楽隊と共に消防フェア



ーなど様々なイベントやパレードに参加し消防広報を行う〈カラーガードグループ〉があります。

本年7月29日、30日には、奈良市において第16回全国女性消防団員活性化奈良大会が開催されます。この大会は『いにしへの都、奈良へようこそ「未来につづく、女性消防団員の絆」』をテーマに、全国の女性消防団員が一同に会し、これからの消防団活動をより活性化させ、地域の「安全」「安心」な暮らしの推進に貢献することを目的としており、地域間の交流の輪が一段と広がることが期待されます。

私たち奈良市消防団は、開催地の消防団として全国から訪れて下さる皆様を「もてなしの心」でお迎えしようと心待ちにしておりますので、是非、皆さん「日本人の心の故郷〈ふるさと〉奈良」へお越しくださいますようご案内申し上げます。



## 「歴史と伝統ある 消防団を後世に」



青森県弘前市消防団 団長 石岡 廣美

### 1. 弘前市の概要

弘前市は、青森県の南西部の津軽平野南部に位置する豊かな自然と景観に恵まれた人口約19万人の都市です。平野部は県内屈指の穀倉地帯で、連なる丘陵地帯には生産量日本一を誇るりんご園地が広がっています。

津軽藩10万石の城下町として発展し、津軽地方の政治、経済、文化の中心的役割を担ってきました。そのシンボルである弘前城は、平成23年に築城から400周年を迎えます。

これを記念し、先人の歩みを振り返りながら市を挙げて築城400年を祝うこととしており、消防団としても消防の歴史と文化をテーマとした展示、イベントに参画する予定です。



弘前城のさくらと岩木山



シンボルマーク



キャラクター たか丸君

### 2. 弘前市消防団の組織

弘前市消防団は、平成18年2月の市町村合併により、1本部、5方面団、20地区団、111分団に編成されました。

本部には、梯子隊、喇叭隊、纏隊及び女性消防団が配属されており、梯子隊、纏隊は平成5年11月に東京ドームにおいて開催された「自治体消防45周年記念大会」で天皇皇后両陛下ご臨場のもと江戸時代から培われた勇姿を披露した実績を持っています。

平成22年1月1日現在、団員数2,007人（条例定数2,080人）で、装備は、司令車1台、ポンプ自動車52台、ポンプ付積載車51台、警備車8台、その他車両2台となっています。

### 3. 弘前市消防団の活動

主な活動としては、1月の消防出初式や文化財火災防ぎょ訓練に始まり、4月の春

季火災予防運動、5月の青森県消防協会中弘支部定期観閲式、7月の消防団員活性化大会、8月の弘前市総合防災訓練、操法大会参加、9月の山岳遭難救助訓練、10月の秋季火災予防運動などです。

## 4. 消防団の活性化と地域防災力強化

### ○消防団活性化大会

消防団活性化大会を開催し、表彰、意見発表、郷土芸能発表、講演などを行ってきましたが、平成20年度からは、方面団対抗のソフトボール大会を実施し、消防職員や団員相互の親睦を深めています。

### ○団員研修

年1回、5年未満の団員を対象とした各種研修会と分団長以上の幹部特別研修を実施しています。この他、各地区ごとに独自の研修会を開催しています。

### ○女性消防団

女性消防団は、平成13年4月に発足しました。発足時は、火災予防指導や式典アシスタントが主な業務でしたが、平成19年度からは応急手当指導員の資格を取得し、消防職員とともに自治会や学校、企業などに出向き救急救命講習活動を行っています。今後は、この資格を生かし、消防団員への救急救命講習の普及を図っていきたいと考えています。

また、平成21年10月に横浜市で開催された第19回全国女性消防操法大会に青森県代表として出場し、敢闘賞を授与されました。

### ○雪対策

冬期間、各分団管轄内にある消防水利、避難路及び歩道等の除雪を消防団員が実施しているほか、地区内の一人暮らし老人家



第19回全国女性消防操法大会会場にて

庭の屋根の雪下ろしをボランティアなどで随時実施しています。

### ○消防団協力事業所表示制度

平成21年4月より消防団協力事業所表示制度を導入し、市内10事業所が認定を受けています。今後も被雇用消防団員の活動環境の向上を図るため、制度の普及に取り組んで参ります。

## 5. 終わりに

弘前市消防団の団員充足率は比較的良好ですが、高齢化やサラリーマン化など、消防団を取り巻く環境は次第に厳しいものとなっています。しかし、災害発生時には、地域住民と密接な関係のある我々消防団の果たす役割は重要であり、常備消防と連携を強化し、様々な課題を克服し、使命達成のために精進して参りたいと考えています。



中心商店街で行われる消防出初式での纏振り



## 「地域住民の生命・ 財産を守るために」



智頭町消防団 団長 井手口 俊之

### はじめに

智頭町は、中国山地に囲まれ鳥取県東部の最南端に位置し、かつては全国でも指折の杉産地として知られ、典型的な中山間地域の小盆地で、面積は224.61km<sup>2</sup>（東西22.8km、南北16.0km）、町面積の約93%を山林が占め、人口は8,355人です。

古くは山陰・山陽と近畿に通じる街道従来の宿場町として栄え、現在は鳥取と岡山を結ぶ国道53号・JR因美線、及び智頭と姫路を結ぶ国道373号が通っています。

平成6年には智頭急行が営業運転を開始し、そして中国横断自動車道「姫路鳥取線」の開通が予定されています。

地名の由来は明らかではありませんが、一般的に智頭の「智」は「道」、「頭」は「はじめ」を意味しており人・物・情報などの知恵が「道」によってもたらされ、また、都から官道で因幡国に入る「はじめ」の郡という意味で「頭」の文字が当てられたと言われています。



### 1. 消防団の紹介

本町の消防団は、町本部1・各地区本部6・分団30、団員数479名（条例定数500名）で構成しています。

階級構成は、団長1名、副団長7名、分団長36名、副分団長10名、部長57名、班長69名、団員299名で構成し、実団員数479名です。

消防車両は、指令車1台、指揮広報車1台、ポンプ車6台を配備、小型動力ポンプ29台を配備し、防災啓発や災害発生時に迅速に対応できるように団員一人一人が機械器具点検を行っています。

### 2. 消防団の活動

毎年、3月下旬・4月上旬に出初め式において、新入団員に辞令交付を行い消防団員としての活動を始めています。

消防団員の教育については、鳥取県消防学校で開催される教育研修へ、新入団員及び全団員を対象に研修に参加しています。

火災予防については、火災予防週間において消防団員による啓発を夜間に消防車両を使用し広報を実施しています。

消防団員の訓練については、6月上旬に智頭町水防訓練で、水防活動の基本となる工法を実施、10月中旬には、智頭町礼式訓練を行い小隊訓練等の基本動作の講習、11月上旬は、智頭町消防団総合訓練を年間の訓練の総まとめとして実施しています。



### 3. 女性消防団員の発足

智頭町消防団では、日頃より消防団員の確保に努めていますが、団員の確保が難しくなってきました。今後の消防団の活動において、女性の活動による防災予防活動及び災害時後方支援など女性における、優しさやきめ細やかな配慮などを必要とするため、平成19年度に18名の女性消防団員が入団し、分団として活動をしています。消防団が行う主要行事への参加、火災予防等に関する広報・啓発活動及び救急救命普及員・指導員を取得させる取り組みを行っています。

現在は、地区本部が6地区あり、その中の那岐地区に女性分団として組織し活動を行っています。今後は各地区に女性消防団員が増えるよう取り組みを進めているところです。

### 4. 終わりに

消防団を取巻く現状として、少子・高齢化により人口が減少している中での団員確保が難しくなっていますが、近年の災害発生における消防団の活動はますます増えています。

今後も各消防防災関係機関と協力しながら、先頭に立って、地域住民の生命財産を守るために活動して行きたいと考えております。





## シンフォニー（三重県）

# 「地域から親しまれ、信頼される 消防団活動を目指して」

名張市消防団 部長  
福永 かほる

私が住んでいる名張市は、三重県の北西部に位置し、奈良県と県境を接する山間の地方都市です。万葉集にも名が見える歴史と伝統を誇り、周囲を山野や日本の滝百選、森林浴の森百選にも選ばれた、赤目四十八滝などの自然に囲まれた緑豊かなまちですが、近年は大阪のベッドタウンとして発展してきました。

名張市消防団は、本団と9つの分団で構成され、団員数464名。女性団員は平成17年4月の発足以来、本団に属し、現在19名が女性部として活動しています。

私達女性団員は、主に地域の防火指導や広報啓発活動、応急手当の普及といった、女性の優しさや細やかな配慮等の特性を活かした活動を行っています。

また、平成20年11月には、ローカルヒーロー「アンシンダーL」を結成し、各種イベントや保育所・幼稚園等の舞台上、応急手当や、家庭内防火の呼びかけを行っています。救急救命に関するモチーフを盛り込んだカラフルな衣装は、全て手造り。テーマソングも『安全なまちをつくりたい』という願いを込めて、作詞や歌も担当しまし



た。子ども達からお年寄りまで、市民の皆さんが親しみを感じてくれるような活動を目指しています。

平成21年10月の全国女性消防団員活性化岡山大会では、『アンシンダーL』の火災予防啓発劇を発表することができました。全国から集まった多くの女性団員さんに自分たちの活動を披露できたという喜びも大きかったのですが、それをご覧いただいた他府県の女性消防団員さんから、何件か問い合わせ等のご連絡をいただき、反響に驚いています。

消防団活動は、昼間の仕事をしながらですから、体力的にも多少無理をすることもあります。活動を通して、市民の皆さんから期待をしていただいたり、それによって自分の新しい価値を見出すことができたり、仕事や、家庭からとはまた違う窓口から社会を見ることができたり等々……。私にとって、消防団との出会いは、人生の幅を大きく広げてくれたように思います。

今後も、団員のみんと共に、地元に根付いた、新しい活動の展開を進めていきたいと思っています。



新たな時代への挑戦

消防団員が『未来レスキューロボット操縦士』から社会貢献まで  
～人材の宝庫ともいべき多彩な団員の生業の特技を生かして～

北九州市戸畑消防団団長 小野田 利光



北九州市戸畑区は、福岡県の北方にある北九州市のほぼ中央に位置し、人口約6万2千人、面積16.7km<sup>2</sup>で、明治34年「官営八幡製鐵所」が建設されたことから工業都市として発展した街です。

北九州市戸畑消防団では、消防審議会における消防団機能向上のための総合戦略検討小委員会（委員長：日本消防協会秋本理事長）から平成19年に発出された報告書「消防団員増加への時代転換をめざして」に基づき、入団促進のための様々な事業を展開し、魅力ある消防団運営に努めています。

同報告書の「消防団の運営においては、人材の宝庫ともいべき多彩な集団としての特色を十分認識し、これを一層生かす」に着目し、次のような施策を実施しています。

### 消防団員による『未来レスキューロボット操縦士』

北九州市消防局では、ロボットメーカーである株式会社テムザックから“未来消防ロボット”の開発協力に関する依頼を受け、北九州市戸畑消防団とともにレスキューロボット『T-53援竜』の実用化に向けた実証実験を行っています。

このロボットは、化学災害の現場等人の近づけない危険な地域での活動や、倒

壊家屋や土砂崩れ等からの人命救出等、隊員の力では救出困難な場合の消防活動に活躍を期待されています。



倒壊家屋からの救出訓練



NBC災害訓練

レスキューロボット『T-53援竜』はクローラ（キャタピラ）走行式双腕ロボットで、大きさは1.4×2.32×2.8m（幅×奥行き×高さ）。重量は2.95t。

動力源は水冷3気筒過流式ディーゼルエンジンで、燃料を満タンにすれば6時

間稼動できます。

操作は、搭乗及び無線LAN経由の遠隔操縦にて行なうことができ、遠隔操作については、頭部とアーム先端部に搭載された7つのCCDTVカメラを遠隔装置のモニターで映し出し操作します。また、腕部の操作は、“同期動作制御”を導入しており、操縦者はジョイスティックで腕や手の関節の微妙な操作も可能です。

なお、腕部は、油圧駆動により、片腕で約100kgまでの物体を持ち上げることができます。

また、通常、車両に必要なウインカー、ブレーキランプ、車幅灯、ヘッドライト、反射板などを装備することで、「ロボット初」の車両ナンバーを取得し、一般道路の走行が可能です。

消防団員がレスキューロボットの操縦士として誕生した経緯は、ご存知のとおり、消防団員は、生業を持ち、普段は、建設業、サービス業等様々な人材がいます。

このような、仕事上の特徴を活かし、この度、建設関係等の機械機器の操作に精通した団員を、ロボットの操縦士にしました。



団員による遠隔操作訓練



小野田団長とロボット操縦士である団員



各種イベント等の防火・防災広報でも活躍

消防ロボットの操作を消防団員が行うことは、日本はもとより、世界にも珍しく、韓国やスウェーデン等の海外メディアの取材等、国内外からも注目をされています。

### 消防団の社会貢献（CSR）の推進

北九州市戸畑消防団では、消防活動以外でも、もっと地域に根ざした社会貢献活動をしたと考え、様々な職業で構成される消防団員の特技を生かして、高齢者や障害者に対して、簡単な大工仕事を行う「腕自慢おまかせサービス」を独自に始めました。

また、市社会福祉事業団が行っているリフト付き車両で高齢者や障害者を支援する「シルバーひまわりサービス」にも参加しています。

更に、平成14年度からは、空き缶のプルタブを集め、その売却金により、市社会福祉協議会を通じて多くの福祉施設等に車椅子を贈呈し、その台数は、本年度までに28台となっています。車椅子贈呈式は、毎年一回、市社会福祉協議会が開催する「ボランティアのつどい」で行われ市内外に大きな反響を呼んでいます。



「ボランティアのつどい」における車椅子贈呈式



### 住宅用火災警報器の設置促進

また、今年度にあっては、空き缶のプルタブの売却金から住宅火災警報器を購入し、市社会福祉協議会が配布した区内の高齢者宅に消防団員が出向きボランティアとして設置をしています。



### おわりに

戸畑消防団の団員充足率は、常に100%を保持しています。

しかしながら、団員の高齢化も進んでいることから、小中学生等の若年層の防災教育と併せて、今後は、若い世代が消防団に魅力を感じるような各種施策に取り組んで行きたいと考えています。

今後も、地域に愛される消防団を目指し、新時代に向け更なる挑戦を続けていきます。

# 情報収集に救援活動に活躍 ～中越沖地震の柏崎刈羽両消防団～

新潟県 柏崎市消防団・刈羽村消防団

2007年7月16日午前10時すぎ、マグニチュード6.8の地震が中越沖で発生しました。震源地に近い柏崎市、刈羽村の消防団は発生と同時に住民の安全確保、被害状況の調査などを手始めに地域情報の収集、さらに時間の経過とともに救援活動へと活躍の場を広げ、大きな役割を果たしました。消防団員の減少が続く中で、住民の安全を守るため立ち上がった消防団の姿を、柏崎市消防団の品田汎朗団長と刈羽村消防団の星野和道団長に聞きました。

中越地震の被害状況

	刈羽村	柏崎市
死者	1人	14人
重軽傷者	116人	1,664人
全壊	166棟	1,121棟
大小半壊	441棟	4,583棟
一部倒壊	65棟	22,720棟
避難所	7カ所	88カ所
避難者数	791人	67,713人
ガス・水道（停止断水）	1,312戸	71,238戸
停電	1,565戸	23,300戸
仮設住宅	200戸	1,007戸
延べ入居者	535人	2,477人

## ○安否確認に巡回強化（柏崎市）

地震発生と同時に消防団本部の指示で、市内に分散している23分団、1,030人の団員が各分団に集結しました。電話やメールが使えないので、消防無線を頼りに地域の被害状況を集める作業がスタートしました。

まず、倒壊家屋の住民安否の確認でした。市内を7つのブロックに分け、倒壊家屋を巡回します。見落としがないよう2回巡回しましたが、さらに市の消防隊と合同で調査区域を16ブロックに細分化し、念を入れた作業に徹しました。

住民の姿を確認できなければ捜査しなければならぬので、最も重要な作業でした。

次は、負傷者の救援で、重傷者は即時医療機関へ搬送しなければなりません。市の119番は1,300人を超える負傷者のため、救急車の出動要請が殺到し、パンク状態になりました。窮余の一策で、各分団に配置されている消防積載車に重傷者を乗せ、病院に搬送しましたが、積載車は1人しか乗せられないので、負傷者にとっても、団員にとっても苦しい救急代行車でした。しかし、緊急時の対応としてよかったと思います。

各分団からの報告で被害状況が判明するにしたがって、団員の手助けを必要とする作業が大幅に増えていきました。

主なものをあげれば、地域の警戒パトロール、被害調査、倒壊家屋の検索、住民の避難所への誘導、倒壊家屋からの救助作業、陥没道路での交通整理、亀裂箇所のシート張り、さらにピーク時11,400人を収容した市内88カ所の避難所仮設トイレの水管理、全国からの救援物資の搬入作業、救援自衛隊の作業補助、炊き出しの手伝いなど、生



倒壊した家屋から救出活動している消防団員

活支援活動にも取り組みました。

地震発生から10日間だけでも、延べ2,500人の団員が、自宅の被害も顧みず救援活動にあたりました。

### ○役立った無線での指示



柏崎市消防団 品田汎朗消防団長

柏崎市消防団の品田汎朗消防団長は地震救援の教訓を次のように語っています。

「地震や豪雨による洪水などの大災害で大切なのは、住民の安否と被害状況の把握です。これが敏速に、正確にできないと救

援、復旧への手立てができません。

通信や交通網の寸断で情報収集が困難の中で、役立ったのが携帯無線と各戸に配線されている防災無線です。もう1つは市内各地域に分散配置されている消防団組織です。

今回は無線を使って各分団に住民の安否確認、被害状況の把握を指示できました。ただ一波の無線のため、全消防団に指示が届くのに時間がかかりました。国では今後アナログからデジタルに切り替える方針だと聞いており、改善されれば、スムーズな交信ができると思います。

各家庭を結ぶ防災無線は、家が倒壊すれば利用できなくなりますが、例えば、仮設浴場の設置や救援物資の配布など、市からの案内は街頭の防災行政無線から伝えられるので住民は助かりました。

## ○災害に備え団員増強へ

消防団は市内に点在しているので、各団からの情報を集約すれば全市内の概況が把握でき、大きな助けになりました。救急車の代役をしたのが消防団に配置された消防積載車でした。

消防署や消防団は日常の防災活動だけでなく、むしろ大災害でいかに大きな役割を果たしたか認識を新たにしました。

2009年4月1日現在、団員は1,477人、定員が1,717人だから240人減です。災害に備えた定員確保が必要です。高齢化社会を考えて定年を60歳から65歳に延長する一方、企業にも“消防団協力事業所表示制度”による参加を要請したところ、81社のうち26社が参加しました。現在、女性団員が19人ですが、さらに勧誘を進めると同時に、市内の大学にも学生団員への参加を呼びかけたいと思います。」

## ○団員の情報を行政に生かす（刈羽村）

2007年7月16日、地震発生と同時に役場に職員が集結しました。しかし、交通、通信網などの寸断で村内の被災状況は、なかなかつかめません。星野和道消防団長は、役場設置の本部消防無線で、旧学校区に配置している5ヵ所の消防分団に災害状況の報告を指示しました。

「村内の集会所を避難所に当て住民の避難が始まった。」「老人世帯に避難を要請した。」「電気災害が発生したので電力会社に通報した。」など、地域の情報が集まりました。

時間とともに家屋の被害やケガ人の様子など具体的な報告が集まり、その都度役場に報告しました。

「村内全域の状況がつかめないと役場は緊急対策を出せません。役場の職員は対応策など多くの仕事を抱え、村内の調査に回ることができませんでした。消防団の情報が役立ちました。」（武本純総務課長）

被害状況が明らかになるにつれ、消防団の救援活動も増えました。

消防団本部の指示で、倒壊家屋からの救援作業をはじめ、ケガ人の搬送、住民の安否確認、避難所への修道、火災の警戒、土砂災害防止作業、さらにはラピカなど村内7ヵ所に設けた避難所に最大800人を収容しました。その食事の運搬、全国から昼夜の別なく送り込まれる救援物資の保管整理、崩壊家屋からのゴミ処理など、役場の手が届かない作業を受け持ち、大きな助っ人の役を果たしました。

こうした活動のなかで、一番力を発揮したのは地震発生初期の情報収集でした。消防団本部と5分団を無線のネットワークで結び村内の災害状況がつかめたことです。

村は緊急対策会議に星野和道消防団長の出席を要請、各団が集めた情報の報告を求めたことでも推察できます。

中越沖地震で消防団員は、今まで経験しなかった多くの教訓を得たと言います。その一つは、大災害では全地域の情報を正確に、しかも早く集めるかです。地域に密着した消防団組織の役割が大きいと思います。

その情報収集に役立ったのが消防無線でした。災害が大きければ大きいほど威力が増します。

二つは、ボランティア活動です。今回の地震では、団員は2週間に延べ1,086人が救援にあたりましたが、その他に県内外か

ら大変な数のボランティアの人達が応援で来られて活動しました。それでも人手が余ることはありません。

### ○高まる地域の絆



刈羽村消防団 星野和道消防団長

刈羽村消防団の星野和道消防団長は、越沖地震の救援活動について次のように話しています。

「地震という大災害の救援活動は日常の消防団活動とは次元が違う。自分自身の被

害も顧みず救援に参加したことで、みんなで地域を考える絆が強くなったと思う。また、団員が積極的に行動できたのは、3年前の中越地震の教訓を被災市町村から学んだこと、さらには柏崎刈羽原発の防災訓練の積み重ねと約25年前より行っている、全団員による移動無線訓練が底辺にあると思います。」

地震救援で消防団の責任の重さも実感したわけで、今後、団員確保と要請に努めなければなりません。

かつては280人でしたが現在は220人です。消防の機械化が進んだのと、村が広域消防に加入しているから、日常の火災には現在の団員数で対応できます。だが、洪水や地震など長期間に渡る災害になると、救援の交代要員も必要だから団員は多いほどよいので“みんなで地域を守る”をキャッチフレーズに勧誘していきたいと思います。」



平成21年8月10日 柏崎市消防本部

○柏崎市消防団員の地震活動アンケート（抜粋）

\*地震発生時

団員の招集に防災行政無線を使ったので対応が早かった。  
 発生直後、積載車へ急行、地区内を巡回した。  
 当日朝から訓練をしていたので出勤が早く地区民に喜ばれた。  
 消防活動が必要と思った。  
 団員の集合が遅れたため巡回ができなかった。  
 安否確認は町内会長と連絡が取れない所もあった。

\*避難所で

自分は被害者だと言って行動意識のない人が多かった。

\*無線使用

安否確認第一で被害報告ができなかった。  
 混信したが全体の状況はつかめた。  
 消防無線は一波のため不十分だった。  
 混信のない新しい無線が必要。

\*その他

ポンプ車操法より災害訓練が必要。  
 自主防災組織づくりが急務。  
 会社の被害が心配で活動できない人が多かった。

（社）新潟県自治研究センター 2010年1月発行『新潟自治』第42号からの転載

子供の発明  
×  
KEIRIN

盲導犬  
×  
KEIRIN

再生水  
×  
KEIRIN

オリンピック  
×  
KEIRIN

**RING!RING!プロジェクト、はじまる。**

夢に向かってがんばる人たちの想いと、それを応援するケイリンの想い。  
 2つの想いが自転車の両輪となって、まっすぐ未来に進んでいけるように。  
 みんながやりたいことをかなえ、もっと笑顔の輪が広がっていくように。  
 ケイリンの補助事業は「RING!RING! プロジェクト」に生まれ変わります。

Ring! Ring!

RING!RING!プロジェクト 競輪補助事業ホームページ  
<http://ringring.keirin.go.jp/>

日本自転車振興会 〒102-8011 東京都千代田区六番町4-6  
 機械工業振興部 / 03-3512-1273 公益事業部 / 03-3512-1276

都道府県消防操法大会は競輪補助事業として実施しています

# 平成22年度消防防災機器の開発等、消防防災科学論文及び原因調査事例報告 募集要領

総務省消防庁消防大学校 消防研究センター

## 1. 趣旨

消防科学・技術の高度化と消防防災活動の活性化に寄与することを目的として、優秀な消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告を消防庁長官が表彰する制度です。

## 2. 主催

総務省消防庁

## 3. 募集の範囲

- (1) 消防防災機器等の開発・改良（消防職員・消防団員の部、一般の部）  
消防防災活動において活用するために創意工夫された機器等の開発又は改良したもの。
- (2) 消防防災科学に関する論文（消防職員・消防団員の部、一般の部）  
消防防災活動における問題点を技術的な観点から解決又は考察したもの。
- (3) 原因調査に関する事例報告（消防職員・消防団員の部）  
消防機関において実施された原因調査で、消防防災科学技術の観点から解決又は考察したもの。

## 4. 応募者の区分

応募者の区分は次のとおりです。

- (1) 消防職員・消防団員の部  
消防職員、消防団員の個人又はそ

れらのグループ（消防防災に係わる職員を含む。）

### (2) 一般の部

- (1) 以外の個人又はグループ

## 5. 応募作品

- (1) 「消防防災機器等の開発・改良」の場合  
・新規に開発・改良されたもの。  
(ただし、市販化されているものは、平成17年4月1日以降に市販化されたものに限る。)
- (2) 「消防防災科学に関する論文」の場合  
・新規に著されたもの。
- (3) 「原因調査に関する事例報告」の場合  
・平成17年4月1日以降に行われた調査事例。  
・一般に公開される事を考慮し、個人情報等に注意すること。  
・係争中の事例の応募は不可とする。  
なお、(1)(2)(3)ともに、過去に応募したものと同一の作品又は他機関の表彰等への重複応募作品は対象外とします。また、応募作品は返却しません。

## 6. 応募の様式

所定の様式により、日本語で作成したものとします。

## 7. 表彰及び賞

- (1) 表彰状及び副賞を授与します。
- (2) 表彰作品の点数は次のとおりです。
  - ①優秀賞  
消防防災機器等の開発・改良  
10点以内  
消防防災科学に関する論文  
10点以内  
原因調査に関する事例報告  
10点以内
  - ②奨励賞  
消防防災機器の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告3点以内

## 8. 作品の評価のポイント

消防活動にかかわる現場の視点を重視する。

- (1) 消防防災機器の開発・改良について  
技術的な創意・工夫を有するもの、普及を推奨できるもので、今後の消防防災活動において活用が見込まれるもの。
- (2) 消防防災科学に関する論文について  
技術的な創意・工夫を有するもの、先見性を有するもので、今後の消防防災の分野において応用・発展が見込まれるもの。
- (3) 原因調査に関する事例報告について  
技術的な創意・工夫を有するもので、今後の原因調査業務の高度化、予防対策又は警防対策への寄与が期待できるもの。

## 9. 表彰者の発表

平成22年9月中旬に表彰者を決定し、発

表します。なお、表彰者には直接その旨を通知します。表彰作品は、第58回全国消防技術者会議（平成22年10月21日、22日開催）で発表していただきます。また、表彰作品及び表彰者を、消防庁及び消防研究センターの広報媒体等に掲載する場合があります。

## 10. 個人情報の取扱い

応募書類に含まれる個人情報については、作品の審査、表彰作品の発表及び事務局からの連絡業務においてのみ利用し、応募者本人の同意がある場合を除き、主催者以外の第三者に提供・開示することはありません。

## 11. 応募の方法

下記あて先に郵送又は電子メールにて送付のこととします。

## 12. 受付締切日

平成22年6月9日（水）（郵送の場合、当日消印有効、電子メールの場合、締切日内に到着したもの）

## 13. あて先及び問い合わせ先

総務省消防庁消防大学校消防研究センター 研究企画室  
〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号  
電話 0422-44-8331（代表）  
FAX 0422-42-7719  
消防研究センターホームページ  
<http://www.fri.go.jp/>  
メールアドレス hyosho2010@fri.go.jp

平成22年度 消防防災機器の開発等、消防防災科学論文  
及び原因調査事例報告に関する消防庁長官表彰



# 作品募集



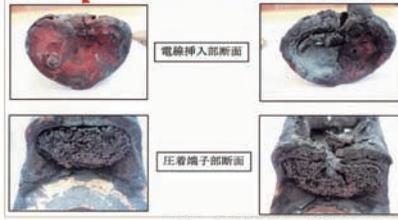
＝過去受賞作品＝  
(平成21年度入選作品の一部です)



消火器放射訓練用標的器



AED用絶縁プライバシーシートの開発



配線からの出火事例の調査について



低圧進相コンデンサ火災の  
原因判定に関する一考察



ガスヒーターエアコンの監視とセンサーライトの  
出火再現実験について

## 【募集範囲】

- (1) 消防防災機器等の開発・改良  
消防防災活動において活用するために創意工夫された機器等の開発または改良したもの。
- (2) 消防防災科学に関する論文  
消防防災活動における問題点を技術的な観点から解決あるいは考察したもの。
- (3) 原因調査に関する事例報告  
消防機関において実施された原因調査で、消防防災科学技術の観点から解決あるいは考察したもの。

【表彰及び賞】 審査の結果、優秀な作品には表彰状および副賞を授与します。

【締め切り】 平成22年 6月 9日(水) ※例年より早まっていますのでご注意ください

【問い合わせ】 消防庁消防大学校消防研究センター 研究企画室

電話 0422-44-8331 (代表)

FAX 0422-42-7719

E-mail [hyosho2010@fri.go.jp](mailto:hyosho2010@fri.go.jp)

【応募要領】 消防研究センターホームページから入手できます。

<http://www.fri.go.jp/>

National Research Institute of Fire and Disaster 消防庁消防大学校消防研究センター

# 住宅用火災警報器設置促進の取組

総務省消防庁 予防課

## 当面の重点実施事項

平成16年の消防法改正により義務化された住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の設置推進については、平成20年12月に決定された「住宅用火災警報器設置推進基本方針」（住宅用火災警報器設置推進会議決定）に基づき、各地で様々な取組が展開されているところです。平成22年1月には、第3回住宅用火災警報器設置推進会議が開催され、「共同購入等の先進的ノウハウの普及」等を内容とする「当面の重点実施項目」が決定されました。ここでは、地域に密着した取組について、いくつかの事例を紹介します。

## 地域推進組織による取組（兵庫県三木市）

住警器の設置対象となる住宅や地域社会の特性は様々であるため、その設置推進を図るには、地域社会との連携が不可欠です。これまでに住警器の普及に成功している地域では、消防署又は消防本部が消防団、婦人（女性）防火クラブ、自主防災組織、町内会、自治会等の地域社会に密着した推進主体（地域コミュニティ）と連携して取り組んでいるケースが多くあります。

例えば、兵庫県三木市においては、婦人（女性）防火クラブ員とともに消防本部から地区協議会に対し積極的な働きかけを行い、婦人（女性）防火クラブ及び消防団との連携のもと協議会が地区内自治会を対象として共同購入の回覧と回収、機器配布と集金を行いました。

高齢者宅等で取付け希望がある世帯に対しては、シルバー人材センターの会員により取付け支援を実施しました。共同購入先としては、地元の電器店、電器店の無い地区はJAと連携を図りました。さらに、市福祉課を通じて市内全地区の民生児童委員の調査協力を得て、市内のガス事業者と連携しながら、ひとり暮らしの高齢者宅（1,395戸）に住警器1個の無償設置事業を実施しました。

## 地域での共同購入（京都府宇治市）

住警器の普及策として最も期待されるのが共同購入です。地域で購入者を募って大量購入することで、当該地域の普及促進に資する他、顔が見える関係での購入となるため、悪質訪問販売被害の懸念も解消されます。また、

地域で同時期に購入することで、電池切れ等による交換も同時期に行うことができるなど、地域での維持管理が行えるなどのメリットがあります。

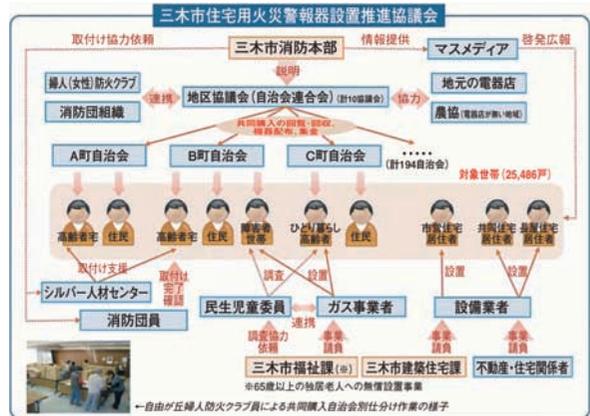
京都府宇治市では、婦人（女性）防火クラブが一丸となって共同購入に取り組んだ結果、地区内における設置率は98%に達しました。

地区内の各戸に何度も訪問し住警器の重要性・必要性を粘り強く説明を行うことでほとんどの住民の理解・賛同を得ることができました。また、自ら設置することが困難な世帯に対しては、消防団の協力も得てクラブ員が取付け支援を行いました。

これらの経験を踏まえ、市内の周辺地域で実施する共同購入の際にクラブ員がアドバイザーとして参画し、他の自治会等の共同購入の起爆剤として大きな役割を果たしています。

## おわりに

各地域において様々な取組が行われています。消防庁ではこうした取組事例を集めているところであり、その一部は「住宅防火情報」として全国の消防機関へも配信しているところです。また、地域における共同購入等の実施事例の中から、共同購入の成功の秘訣等のポイントを整理し、ノウハウ集を作成・配布する予定としています。こうした情報が各地域において共有されることで、それを参考とした様々な工夫が実践され、住警器の設置が推進されることを期待しています。



兵庫県三木市の事例

# 住民に対する応急手当の普及啓発

総務省消防庁 救急企画室

## 応急手当の必要性

119番通報を受けてから救急自動車が現場に到着するまでの平成20年中の全国平均時間は7.7分を要しています。

救急自動車が現場に到着するまでの時間は、年々遅延する傾向にあります。もし、突然目の前の人倒れ込み心臓や呼吸が止まってしまった場合、救急自動車が到着するまで何も出来ずにいたなら…。

救えるはずの命を救うために、勇気をもって救急現場に居合わせた人（バイスタンダー）が応急手当を実施する事が重要となります。

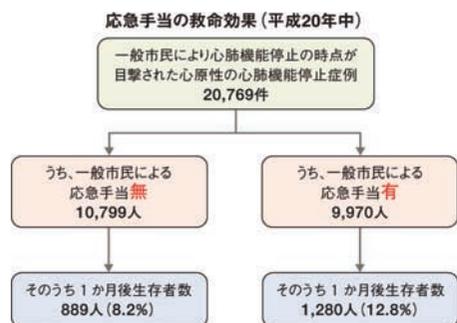
そして、早い通報・早い応急手当・早い救命処置・医療機関での早い救急医療というような救命のりレーにより、命を救える可能性が高くなるのです。



※バイスタンダーとは「偶然に通り合わせた人」「すぐ側にいる人」のことを言い、生命の危険に陥った人に救いの手を差し伸べる人を指しています。

## 応急手当の救命効果

平成20年中における全国の救急隊が搬送した傷病者のうち、一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心臓が原因の心肺機能停止症例について、救急隊が到着した時に応急手当が



実施されていた場合の生存者数の割合（12.8%）と実施されていなかった場合の生存者数の割合（8.2%）を比べると、応急手当が実施されていた場合の方が、4.6ポイント（約1.6倍）救命効果が高くなっています。

## 応急手当を身につけましょう

消防機関では、いざという時のために応急手当の知識と技術が広く普及するよう、実技指導に積極的に取り組んでいます。消防機関が開催している住民に対する応急手当講習会は次の2種類があります。

### ☆普通救命講習会（3時間）

心肺蘇生法（成人）、大出血時の止血法、対象者によっては、小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法を加える。

### ☆上級救命講習会（8時間）

心肺蘇生法（成人・小児・乳児・新生児）、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法

平成20年中に全国の消防機関による普通救命講習会は7万4,244回開催され、154万1,459名が受講、上級救命講習会は3,643回開催され、7万7,660名が受講し、合計で受講者数は160万人以上が受講しました。



(写真提供：千葉市消防局)

これらの講習は傷病者の救命にかかわる心肺蘇生法、大出血時の止血法、AED（自動体外式除細動器）の正しい理解と使い方について、実技を主体とした講習内容となっております。

この応急手当講習は、消防署等で受講することができます。講習開催日は、最寄りの消防本部（署）に直接お問い合わせください。

いざという時に備えるためにも、応急手当講習を受講しましょう。

# 津波による災害の防止

総務省消防庁 防災課

四方を海に囲まれた我が国においては、地震を原因とする津波が繰り返し発生し、そのたびに多くの尊い人命が失われてきました。平成5年に発生した「北海道南西沖地震」においては、地震発生後3分から5分というかつてない速さで津波に襲われ、死者・行方不明者が200名以上という大きな被害が出ました。

さて、津波による被害を防ぐためにはどうしたら良いのでしょうか。答えはひとつ、それは「逃げる」ことです。それも「すばやく逃げる」ことです。では、すばやく逃げるためにはどうしたら良いのでしょうか。

行政においては、津波避難対象地域、避難地、避難路をあらかじめ指定し周知・徹底するとともに、発災時の迅速かつ正確な津波情報の収集・伝達、避難勧告等の迅速な発令等の対応が求められます。しかし、これらは行政としていわば「当たり前」のことです。これだけでは津波の被害を無くすことは不可能であり、大切なのは、住民一人ひとりが津波防災意識を高く持ち、行動することです。

このためには、町内会などの地域単位で津波避難計画を作成することが重要です。津波避難計画は、行政と住民の協働により作成されるべきものであり、行政から与えられるものではなく、住民が参加し自らの頭で考え、作成することが大きなポイントとなります。

具体的には、都道府県レベルにおいては、広域的かつ統一的な考え方に基づいた津波被害予測（浸水予測図の作成）の実施等、市町村レベルにおいては、住民に対する津波浸水予想地域等の必要な情報・知識等の提供や支援、これら行政の支援を基に住民においては、具体的な避難場所や避難経路の検討等、といった役割が求められます。

計画作成がゴールではなくスタートであり、繰り返しの訓練等による検証を通じ、不断に見直していく必要があります。

近い将来の発生が懸念されている「東南海・南海地震」や「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」では、甚大な津波被害が予想されることから、国、地方公共団体において津波対策に係る取組を推進しています。

消防庁においても、平成16年度に「防災のための図記号に関する調査検討委員会」を開催し、津波避難に係る標準的図記号として「津波注意」、「津波避難場所」、「津波避難ビル」の3種の図記号を決定しました。これらの図記号は、地域住民はもとより、旅行者、外国人に対して容易に分かりうる情報伝達手段として、安心で安全な地域作りの観点からも有効なものであり、平成20年7月に国際規格（ISO）化されるとともに、平成21年3月にはJIS（日本工業規格）化されました。

しかしながら、実際に避難行動をとるのは住民一人ひとりであり、「自分の命は自分で守る！」といった自覚を持ち、大きな揺れや小さくとも長くゆっくりとした揺れを感じたら「行政やテレビなどの情報を待つことなく」すぐに安全な場所へ逃げるといった行動意識の徹底が必要なのです。



# 地域防災スクールの推進

総務省消防庁 防災課

我が国では毎年、地震や風水害等の自然災害により大きな被害が発生しています。

大地震などの災害が発生すると、消防をはじめ、いわゆる「公助」による救助にはどうしても限界があります。実際、平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、建物の下敷きになった人々の多くが家族や友人、隣人などによって救助されています。

地震等をはじめとする災害による被害を軽減するためには、自助・共助の精神に基づいて、地域における防災力を向上させることが不可欠です。

## 地域防災スクールとは

地域防災力向上のためには、住民一人ひとりが防災や消防について学び、災害の恐ろしさや災害に対する備えの必要性を理解し、防災に関する基本的な技術を身に付けて、いざ災害が発生した時に被害軽減のための適切な行動をとることができるようにすることが重要です。

こうしたことから、各地方公共団体において消防職員や消防団員、防災担当職員等が指導者となって、児童・生徒や自主防災組織をはじめとする地域住民に対し、防災に関する知識の講義や、初期消火、応急手当などの実技指導、災害図上訓練（D I G）など、防災に関する教育・訓練を体系的に行う取組を実施しています。消防庁ではこうした取組を「地域防災スクール」として推進しています。

## 地域防災スクールの推進支援策

消防庁では、地方公共団体における地域防災スクールの取組に対して、次のような支援を行っています。

### (1) 指導者用防災教材の作成・提供

消防庁では、地域防災スクールにおいて活用で

きる指導者用防災教材「チャレンジ！防災48」を作成し、都道府県、市町村、消防署等に配布しました。本教材は、ただ聞くだけの座学ではなく、実技的な要素を多く含む実践的な教材となっており、指導者が教育現場に合った項目を選んで指導できるようになっています。この教材は総務省消防庁の「防災・危機管理 e-カレッジ」(<http://www.e-college.fdma.go.jp/>)からもダウンロードできます（3月末より、一部映像を除く）。

### (2) 各種防災教材・資料

消防庁では（1）の指導者用防災教材のほかにも、各種の防災教材等を作成し、消防庁のホームページで公開しており（<http://www.fdma.go.jp/general/life/index.html>）、地域防災スクールの実施にあたって参考としていただけるものとなっています。

### (3) 地域防災スクールの説明会の開催

平成22年度、地方公共団体の防災担当者等を対象として、地域防災スクールの推進や、指導者用防災教材の活用等についての説明会を全国で開催する予定です。

## おわりに

各自治体において、消防機関や学校等とも連携しながら、児童、生徒、地域住民に対する積極的な防災教育を実施し、いざという時に地域ぐるみで対応できる態勢を整備することが期待されています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



学校での初期消火訓練の様子



指導者用防災教材「チャレンジ！防災48」

# 第13回消防防災研究講演会の開催

消防大学校・消防研究センター

1月29日（金）、消防研究センターにおいて、消防機関、区市町村、企業等213名の方々の参加のもと、「都市型空間での火災に対する安全確保に向けて」をテーマとした第13回消防防災研究講演会が開催されました（写真参照）。

最近の都市域においては、大阪市浪速区個室ビデオ店火災や兵庫県宝塚市カラオケボックス火災等にみられるような新たな態様の小規模空間での火災による犠牲者が後を絶ちません。また一方では、地下街路と高層ビルが一体化する建築物のタウン化や、首都高速道中央環状線のような長大で複雑な地下空間の出現等、過密都市空間における大規模複合建造物が年々増えてきており、いったん火災が発生すると、大規模な被害につながる事が懸念されています。

特に、こうした都市型の空間では、火災時に消火・救出に長時間を要し、消火・救助活動を行う消防隊員が危険にさらされる等、消防隊の活動が困難を極めること、また従来の失火による火災シナリオとは異なるテロ・放火等による、従来とは異なる想定外の火災進展も発生してきている点が新たな課題となってきました。そこで本講演会では、これらの複雑化した空間における火災の進展等を予測し、効果的な消防活動を可能とする技術的取組について議論することとしました。

議論に先立ち、基調講演として、消防庁予防課より「最近の都市型空間での火災の状況と対策について」と題し、昨今、都市域で発生している火災の防火対策に係わる施策の紹介が行われました。

その後、午前中は、主として火災の進展予測に係わる研究成果として、①火災時の熱及び酸素環境における高分子材料の燃焼性・有毒ガスの危険性と、こうした燃焼実験データ

のWEB上での公開による有効利用方法の紹介、②実大規模火災実験とコンピュータシミュレーションの相互利用による火災の予測手法について、圧縮陳列店舗やカラオケ店の火災事例をもとに研究紹介がされました。予測手法では、ゾーンモデルと呼ばれる比較的簡易な予測手法と数値流体力学に基づく精緻なシミュレーションモデルの両面から、今後の火災調査への適用可能性が検討されています。

午後からは、消防活動の安全を支える防火服の開発に関連して、③防火服に求められる基本性能と今後の開発工程表、④ナノテクを活用した防火服の性能向上等について、現場での事故例をもとにした安全検証を含めて研究紹介がされました。

最後に、質疑応答においては、ナノテク防火服の実用化の時期の質問や、火災実験のみならず火災事例についても収集・データベース化して公開して欲しいといった情報提供の要望など消防研究センターでの研究の一層の推進を期待する意見を参加者よりいただきました。なお、各講演内容につきましては、消防研究センターホームページ（<http://www.fri.go.jp>）に掲載しています。これらの研究成果が、今後の防火安全対策向上の一助となれば幸いです。



講演会の様子

うちの

# 名物団員



茨城県



石岡市消防団 団長

大高 昇

茨城県のはほぼ中央に位置する石岡市は、平成17年10月1日に1市1町が合併し平成18年4月1日より新しい石岡市消防団がスタートしました。また、旧市町単位で、日本消防協会からまとい賞の授与を受けており、合併効果で1つの市に2つのまとい賞が

あります。

大高団長は、一級建築士としても活躍中で建築現場でも消防団で培ったチームワークとリーダーシップを如何なく発揮されています。休日には奥様と一緒に日帰り旅行を楽しまれ、大子町のひな祭りや水戸偕楽園の梅園を散策したり、好文亭や西山荘などの古き建造物に学び建築士としての造詣を深めています。

幸いにして当市では近年大きな災害は発生しておりませんが、火災の消火活動はもとより火災予防、防火活動を通じ今後も地域に貢献できる消防団としてがんばってまいります。

桑名市消防団 女性消防団 分団長



後藤 昌子

日本一やかましい石取り祭りとハマグリで有名な三重県桑名市消防団女性消防団の名物団員の後藤は桑名一……三重県一敬礼の上手な分団長です。

全国女性消防団操法大会にも指揮者として出場しました。なんと若かりし時は愛知県警の女性警察官で豪腕を振っていました。交通違反を取り締まるマイクを今は火災予防を呼びかけるマイクに持ち替えて、赤い広報車で市内を巡回しています。

著：団員 加藤深雪

三重県



奥村 幸子

「その手は桑名（食わん）の焼きハマグリ」で有名な三重県の北端にある桑名市消防団女性消防団のお料理上手な名物団員の奥村を紹介します。

非常持ち出し袋の中にある乾パンをちょっとした工夫で美味しいおやつに変身させます。また、ハンバーグのつなぎにも役立て賞味期限が切れそうな乾パンを上手く利用します。桑名市の食生活改善推進会にも所属してい

て市民の方にもアイデア乾パンを啓発しています。

全国女性消防団活性化大会の展示コーナーでも紹介しました。

詳しくはブログをご覧ください。

著：後藤昌子



つがる市柏第9分団 班長

## 須藤 誠造

消防団員として活躍している須藤さんは、柏地区で青少年の太鼓指導にも力をいれています。太鼓を通じて非行防止や健全育成を図ると共に日本文化を子ども達に継承させ、文化を大切にすることを育んでもらおうと約10年間にわたり指導を続け、長年にわたり社会貢献活動に尽力された方を表彰する秋季善行表彰（社）日本善行会主催）を受賞しました。

須藤さんの指導を受けた小・中学生たちの中には、消防団出初式・観閲式、老人ホームやイベント等での演奏で人に感謝される喜びと、生きているという価値観に芽生えた子ども達も多く、地域に大きく貢献している頼もしい団員です。



佐世保市消防団 本部 部長

## 寺坂 好晴

佐世保市消防団で活躍している熱血消防団員、寺坂さんをご紹介します。日頃の消防団活動はもちろんのこと、消防団国際会議（平成20年5月14・15日 於都市センターホテルコスモスホール）をはじめ、地域防災力展（平成20年10月11・12日 於東京ビッグサイト）など様々な行事にも積極的に参加されています。また、設備会社に勤める傍ら柔道歴27年で、地域の小・中学生の育成にもたずさわり、平成21年11月には四段に昇段されました。

柔道で培った和敬礼節の教訓のもと、今後の消防団活動にも貢献していきたいと、情熱的に語ってられます。



横芝光町消防団 団長

## 伊藤 弘行

白砂青松の続く九十九里浜が広がる太平洋に面する約2万6千人の横芝光町は、平成18年3月27日に合併した新しい町です。

初代消防団長に就任した伊藤団長は、「災害ゼロの町」を目指し、日々消防団づくりに努めています。

団長の特技は、地元郷土芸能である「はしご獅子舞」の楽曲演奏団体（囃子連）に若い頃から篠笛の演奏者として所属し、現在も活躍しています。また、芸能をこよなく愛する心から歌謡を趣味とし、人前で一曲歌えばプロの歌手も驚くほどの腕を持っており、憩いの場では毎回大人気になるほどです。

このように、団員や町民に広く親しまれる団長の下、町民の期待に応えられる消防団としてさらに頑張ってもらいます。



# 消防団の広場

千葉県

## 「操法訓練と先輩の教え」



千葉市消防団  
第三分団一部

秋元 俊一



私が千葉市消防団に入団したのは、今から13年前の4月でした。

初めて行った地元消防団の定例会議で、先輩団員から「新入団員は操法に出る事」と言われ、操法とは何なのか、全く判らないまま了承してしまいました。そして週4回、2ヶ月以上に渡る厳しい訓練が続きました。大会の結果は入賞する事すら出来ませんでした。

その後の反省会の中で、先輩は私に「これでおまえも一人前の消防団員だ」と言われ、私はわずか2ヶ月前までは、ポンプもホースも触ったことすら無かった自分が、今では、火事場で必要な最低限の放水要領・行動が出来るようになっていた事に気付きました。

さらに先輩達は「操法で一番大事なのは、消火作業の基本動作を覚える事だ、二番目は団員同士の団結力を高める事。順位はそのあとだ。我々の部では新入団員は大会に出て基本操作を覚え、団結力を高めるのだ。」と言われました。

私はあの、辛く厳しい訓練は自分が一人前の消防団員になる為、先輩達に本当の仲間として認めてもらうためだったと思ひ知ったのです。

あれから13年、操法訓練の持つ意義の大切さを新入団員に教え、先輩達の作ってきた伝統を引き継いだ結果、私達の部は、昨年の夏に千葉市大会で5連覇を達成する事が出来ました。

操法訓練に参加する事は、団員やその家族に様々な犠牲や苦勞を強いる事になりますが、その苦勞を乗り越えた時「自分たちのまちは自分たちで守る。」と言う、消防団の精神の礎と成り、一人前の消防団員としての自覚を持つことが出来ると私は思います。



平成22年度 全国統一防火標語

## 「消したかな」 あなたを守る 合言葉

### 5月の日本消防協会関係行事

5月12日（水）	監事監査（日本消防協会・全日本消防人共済会）
5月13日（木）	監事監査（消防育英会）
5月20日（木）	日本消防協会役員会議（正副会長会議、理事会、代議員会） 全日本消防人共済会役員会議（理事会、総代会）
5月25日（火）	消防育英会役員会（評議員会、理事会）

### 編集後記

駅や街角での新入学や新入社した人々の真新しい服は、まさにフレッシュそのもの、その光景にとても清々しさを感じる今日この頃。

そんな人々の往来の中、やわらかい日射しと心地よい風は、季節を春へと切り替え、木々や草花の花と葉の鮮やかさに心が躍ります。

彼岸を過ぎて東京で雪が混じる降雨など、寒い日が続いた今年の冬でしたが、季節はめぐり、春が確実に訪れました。とても心が和み、日本の四季の素晴らしさを再認識していただけます。

「日本消防」を愛読されている皆様のそれぞれの地域での季節の変化は、どうでしょうか・・・

「素敵な春」見つけることができましたか。

春と言えば、そう、人事異動の季節でもありますね。日本消防協会でも異動があり、本号より編集担当は、前任のM・Sさんが琵琶湖畔の故郷に帰任し、霞ヶ浦湖畔の田園地帯から長時間の通勤と苦闘しているA・Sが引継ぎました。

消防に関する様々な情報をお届けしたいと考えております。

本年度における消防団の皆さま方のご活躍を心からお祈り申し上げます。

どうぞ、一年間、よろしくお願いいたします。

(A・S)

### 寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十三巻第四号  
平成二十二年四月五日印刷  
平成二十二年四月十日発行

編集人 岩田知也

発行所 財団法人日本消防協会

東京都港区虎ノ門二一九一十六

電話 〇三(303)一四八一(代)

印刷所

東京都千代田区外神田六―三―三

日本印刷株式会社

電話(383)六九七一(代)

# 消防人の火災共済の補償が増額されました 「1000倍補償を1500倍補償にUP」

## B型火災共済 (加入口数は5口から25口まで)

10口の場合 掛金1000円で  
火災共済金 100万円を150万円に増額しました。  
風水雪害等共済金(全損で) 20万円を30万円に増額しました。  
『掛金は、500円～2,500円(500円単位)で加入できます。』

## C型火災共済 『加入口数は、最高200口』

火災共済金 2,000万円を3,000万円に増額しました。  
風水雪害等共済金(全損で) 400万円を600万円に増額しました。  
※ 風水雪害等共済金とは、これまで災害見舞金としてお支払いしていたものです  
※ 加入にあたり、組合員となっていたいただくために出資金が必要になります。



生活協同組合 全日本消防人共済会

事務局 (財)日本消防協会内 支部 都道府県消防協会内

# 消防互助年金

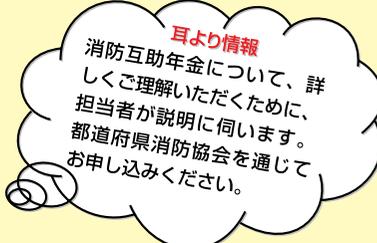
## 『消防の仲間が支える互助年金』

消防互助年金制度は、(財)日本消防協会が消防職団員等の安定した老後の生活と福祉の向上のために第一生命保険相互会社と締結している拠出型企業年金制度です

ホームページでも詳しく紹介しています



「互助マル君」



**耳より情報**  
消防互助年金について、詳しくご理解いただくために、担当者が説明に伺います。都道府県消防協会を通じてお申し込みください。

加入申込みは消防事務担当へ

問合せ先

- 各市町村の消防事務担当係
- 都道府県消防協会

(日本消防協会ホームページ)

- (財)日本消防協会 年金共済部
- 生活協同組合全日本消防人共済会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16  
日本消防会館 TEL.(03)3503-1481~5  
<http://www.nissho.or.jp>